

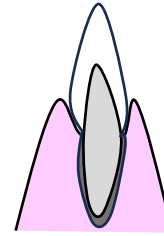
3 代表的な内科疾患

3.1 歯科疾患

(1)解剖・生理

犬の歯式

猫の歯式



(2)代表的な疾患

① 歯周病

- ・ 歯と歯肉の間に[]がたまることで歯周囲に炎症が起こる疾患
- ・ []は直接的な原因ではないが、悪化因子
- ・ 歯石除去は歯周病の病状進行を抑制する



※歯石除去で用いる器具



[]



[]



[]

3.2 耳の疾患

(1)解剖・生理

- ・ 耳は[]→[]→[]の順に分かれる
- ・ 犬や猫の外耳道は[]と[]の部位がある
- ・ 耳小骨は鼓膜側から[]→[]→[]

(2)代表的な疾患

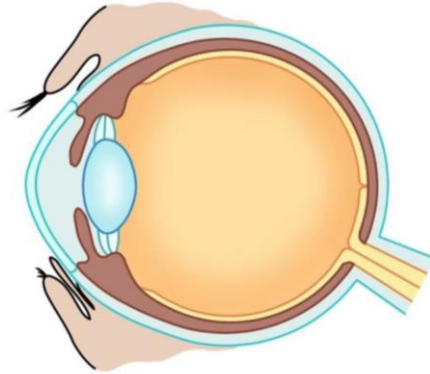
- ・ []…耳介内に血液が貯留した状態
→多くの場合は[]を併発している
- ・ []…[]まで炎症が広がると認められることがある
→[]、[]、[]など

3 代表的な内科疾患

3.3 眼科検査と眼科疾患

(1) 眼の構造について

- ・ []は厚みを変えピント調節
- ・ 光が入る順番



- ・ 網膜

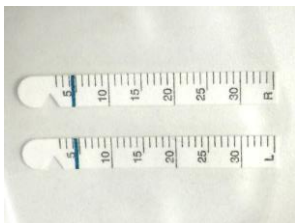
→視細胞が光を感知

- [](色調)
- [](明暗)

※視物質である[]が光を感知する

- ・ 脈絡膜にはメラニン細胞が多く存在し、動物では[]があり光を反射する

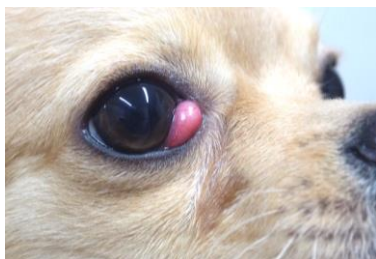
(2) 眼科検査



[] [] [] []

(3) 代表的な疾患

- ① []…角膜表面の傷
- ② []…眼圧が上昇して疼痛や視覚異常を示す
- ③ []…水晶体が白濁して視覚消失する
- ④ []…[]の分泌腺が腫大する



3 代表的な内科疾患

3.4 皮膚科疾患

(1)皮膚の構造

(2)皮疹

原発疹…

続発疹…

(3)皮膚の検査

- ・ []…特定の波長の光をだし、皮膚の[]を検出する
- ・ []…真菌を培養する培地([])を利用する

(4)代表的な疾患

① []

- ・ 原因は[], [], []によるものが多い
- ・ 皮膚糸状菌症は[]で注意が必要
- ・ []により検出出来ることがある
- ・ []により糸状菌の感染を証明する
- ・ 治療は、可能であれば、病変部付近の被毛を短く刈り、シャンプー療法, 抗真菌薬投与

② []

- ・ 原因は[]による炎症性皮膚病
- ・ ニキビダニ症は, []が大きく関与する
- ・ 治療は, 駆虫薬の投与(ブラベクト, シンパリカなどのイソオキサゾリン系駆虫薬)
※基礎疾患の治療が最も重要



③ 犬アトピー性皮膚炎(CAD)

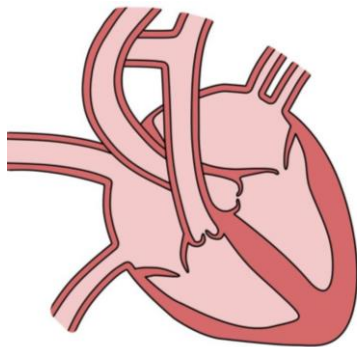
⇒免疫や遺伝的素因が関与した、『痒み』と主徴とした慢性皮膚疾患

- ・ []までの若齢での発生が多く, 年齢の進行とともに症状が悪化する
- ・ 血液検査で, []の上昇が認められる
- ・ 免疫抑制療法に加えて[], []などが重要な疾患

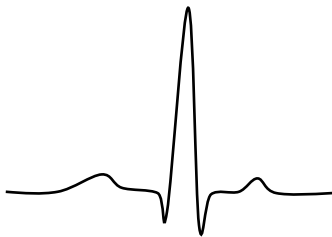
3 代表的な内科疾患

3.5 循環器疾患

(1) 基本的な知識



★心電図



(2) 代表的な疾患

① []

- ・ 僧帽弁の形態の変化や腱索断裂により、弁閉鎖時に隙間が出来ることで、一部の血液が逆流する病態。
- ・ 好発犬種…

- ・ 逆流が悪化すれば、静脈血が組織から十分に還流しない[]が肺で起こり、その結果[]になり、呼吸困難に陥る。

② []

- ・ 猫の[]に併発することが多く、ほとんどの場合は後肢の血流が阻害されて、激しい疼痛と麻痺を引き起こす。
- ・ 血栓は[]に形成されることが多く、これが剥がれ落ちて全身に運ばれ、塞栓を起こす。



3 代表的な内科疾患

3.5 循環器疾患

(2) 代表的な疾患

③ []

- ・ 生後閉鎖する[]が閉鎖せずに開存したままになる先天性疾患。
- ・ 聴診で特徴的な[]が聴取される
- ・ 全身を回るはずの血液が動脈管を介して肺動脈へ流入し肺動脈圧が亢進し、結果として逆に肺動脈から大動脈へ[]が流入し、重度で運動不耐性、肺水腫を認める。(アイゼンメンジャー症候群)

※胎児循環について

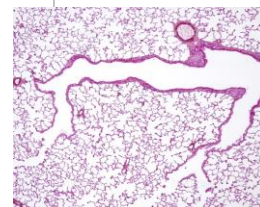
④ [] ←名前は知っておいてください

- ・ 心臓の複合的な奇形
 - []
 - []
 - []
 - []

3.6 呼吸器疾患

(1) 解剖生理学

- ・ 気道…[]→[]→[]→[]→[]
- ・ 肺は左右一対存在し、犬や猫では[]葉に分かれている
- ・ 実際に呼吸(ガス交換)を行う場所を[]といい、小さな袋状の構造をしている



(2) 短頭種気道症候群

- ・ 短頭種
- ・ 短頭種は解剖学的な異常が呼吸器官に見られ、これによっておこる呼吸器疾患をまとめて、[]という
 - ※ネコにおいても[]や[]などで認められる
- ・ [], [], [], [], []などの呼吸器疾患が単一または複数合併する

3 代表的な内科疾患

3.7 消化器疾患

(1)解剖生理学

- ・ 消化器は口から[]→[]→[]→[]→[]→[]→[]→[]→肛門
- ・ 食道
 - 食道の筋層は一部(大部分)は[]からなる
- ・ 胃
 - 胃の入り口を[], 出口を[]という
 - 胃はU字の形をしており, 内側の短いカーブを[], 外側の長いカーブを[]という
 - 胃内は胃酸により[]に保たれる
- ・ 小腸
 - 食事が流れる順に[], [], []である
 - 食物の消化, 吸収に関わる
- ・ 大腸
 - 食事が流れる順に[], [], []である
 - 水, ビタミン, 電解質の吸収や糞の形成, 貯蔵を行う器官
- ・ 肝臓
 - 肝臓は犬や猫では[]に分かれている
 - 肝臓は[]を生成し, 分泌する
 - 消化管(小腸)から吸収された物質は[]を介して肝臓に入る
 - 炭水化物, タンパク質, 脂質などの栄養素の代謝, 貯蔵
 - 毒素や薬物などの代謝, 排泄
- ・ 膵臓
 - 膵臓は外分泌と内分泌の両方の機能がある

(2)検査

- ・ 糞便検査…寄生虫の有無, 腸内細菌叢, ウイルスの有無などを調べる
- ・ 内視鏡検査
 - 内視鏡は, 主に[]の表面の形態について観察する
 - 動物では, 基本的に検査の際に[]が必要
 - 内視鏡はせいぜい[]くらいまでの観察しかできない
 - 内視鏡検査の際には, 専用の鉗子を用いて, 粘膜面の生検をする
 - 肉眼的な異常が無くても, 必要であれば組織を採取する
 - 採取した組織は[]に浸し, 病理組織検査に回す
 - 内視鏡を使用した後は, 使用方法に従い, 毎回洗浄する

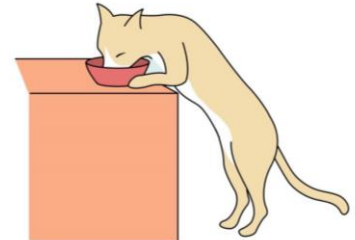
3 代表的な内科疾患

3.7 消化器疾患

(3) 代表的な疾患

① 巨大食道症

- ・ 食道が拡張し、食物が胃に送り込まれなくなる病態
 - ・ 原因は先天性と後天性に分類される ※多くは原因不明
 - 先天性: 迷走神経異常
 - 後天性: []や全身性エリテマトーデス, 食道閉塞性疾患, 食道腫瘍
[](血管異常)など
 - ・ 食道内に食物が貯留し、食後数分～数時間後に[]が見られる
→二次的に体重減少や脱水, 咳([]による)を認める
 - ・ []により食道の拡張が認められる
 - ・ 対症療法として[]が有効
- ※[]に十分に注意が必要



② 胃拡張胃捻転症候群

- ・ 食物, 液体, ガスを飲み込んだり, 発酵により発生したガスにより急激に胃が拡張した状態から, ときに拡張した胃が捻転することがある ※致命的な胃の疾患
- ・ 原因は不明だが, []などが悪化因子となる
- ・ []で[]犬種が多い
- ・ 症状は[], [], []など
- ・ []により拡張した胃を確認する



③ 肝リポドーシス

- ・ 肝臓に[]が過剰に蓄積する病態
- ・ []の[]に多い→急に食べなくなるとなりやすい
- ・ 原因は不明
- ・ 治療は, 支持療法と[]により十分な栄養補給をする

④ 先天性門脈体循環シャント

- ・ 血管の奇形で, 小腸から肝臓へ向かう門脈が全身循環へ迂回(シャント)した状態
- ・ これにより, 食物中の有害物質([]など)が肝臓で解毒されずに, 全身を循環してしまう病態

3 代表的な内科疾患

3.8 泌尿器疾患

(1) 基本的な知識

(2) 代表的な疾患

① 腎不全

- ・ 何らかの原因で腎機能が低下した状態

⇒ 急性腎不全 [] 腎不全: 心不全や脱水などによって腎臓への血流が低下

[] 腎不全: 細菌感染や免疫障害, 薬物などにより腎臓に障害

[] 腎不全: 尿路結石や腫瘍により排尿障害が起こる

※悪化すると死に至る可能性あり(尿毒症)

⇒ 慢性腎不全

急性腎不全の後遺症, [] による腎組織の変化により正常に機能するネフロンが減少する病態

● 慢性腎不全

- ・ 腎不全の症状が現れるのは残存する腎機能が

[] %以下になってから

- ・ 初期の症状は, [] が主

- ・ 2009年にIRISが慢性腎臓病をステージ分類

⇒ 血中の [] を指標に分類 ※ [] も補助的な指標となる

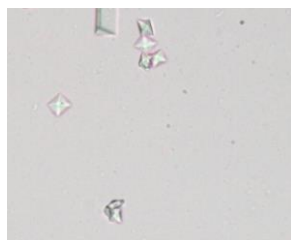
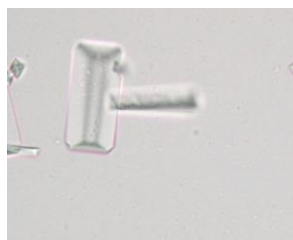
※近年では, 腎臓病の早期発見の項目として [] を指標に加えることもある

- ・ 腎臓への負担を考慮し, [], [] の食事療法を推奨する

② 尿石症

- ・ 尿路に形成された結石によって症状を呈する疾患

- ・ 結石として… [], [] が多い



- ・ X線検査, 尿検査にて検出する

- ・ ストルバイト結石は食事療法によって溶解することが可能

⇒ [] 制限

3 代表的な内科疾患

3.9 内分泌疾患

(1) 甲状腺の疾患

① []: 甲状腺ホルモンの低下によって起こる

・ []に多い疾患

・ 主な症状

[]

[]

[]

[]

・ 治療は[]の製剤を投与し不足したホルモンを補充をする

② []: 甲状腺ホルモンの分泌過剰によって起こる

・ []に多い疾患

・ 主な症状

[]

[]

[]

[]

[]

・ 治療は過剰になったホルモンの合成を抑える製剤や食事療法([])を実施する。外科的に甲状腺を切除する方法もある。

(2) 副腎の疾患

① []: 副腎皮質ホルモンの[]の分泌が亢進した状態

・ 主に[]に多い疾患

・ 症状

・ 分類

① []: 下垂体にできた腫瘍により、副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)が過剰になり結果としてコルチゾールの分泌過剰に至る

② []: 副腎腫瘍によりコルチゾールが過剰に分泌される病態

(3) []

・ []からの[]の分泌や作用が低下して、血糖値が上昇する疾患

⇒インスリンは[]の[]から分泌される

・ 主な症状:

・ 治療は、不足するインスリンを投与することで行う

※インスリン投与時の注意:[]

3 代表的な内科疾患

3.10 神経・運動器疾患

3.10.1 神経疾患

(1) 神経学的検査・・・どの部位に異常があるかを調べる



(2) 代表的な疾患

① [] …… けいれん発作や体の一部の硬直などを認める

- 原因として、脳に異常を認める[]てんかんと脳に構造的異常を認めない[]てんかんがある
- 治療は、[]を使用し、発作を起こしにくくする
- 1日2回以上の発作やそれが数日にわたる場合を[]という
また、発作が5-10分以上続く場合は[]という状態で早急に治療を必要とする

② []

- 椎体間にある椎間板の異常によりよって脊髄が圧迫されて起こる
- 主な症状:

・ 好発犬種

⇒ [], []などの[]に多く見られる

・ 椎間板ヘルニアのタイプ

- []: 髄核が線維輪を破り椎間板物質が硬膜外へ逸脱した状態
- []: 線維輪が肥厚し突出する状態

・ 神経学的検査で病変の部位を探る⇒[], [], []など

・ 治療は、初期の状態(歩行が可能)であれば、安静と鎮痛で回復するが、[]の消失した重症例(ハイグレード)では手術を実施しても術後の回復率が[]

3 代表的な内科疾患

3.10 神経・運動器疾患

3.10.2 運動器疾患

(1) 整形学的な触診・・・特定の疾患に際して起こる所見から診断を実施する

- ① [] : [] の診断法の1つで、後肢を動かすことで大腿骨頭が寛骨臼から脱臼したり整復したりする様子
- ② [] : [] の所見の1つ、膝関節の前方への安定性を確認する検査
- ③ [] : [] の状態を評価する際に実施する

(2) 代表的な疾患

① []

- ・ 股関節の形成不全と変性を示す病態⇒股関節の不安定
- ・ 症状: 筋肉の萎縮, 軽度の跛行, 歩行異常 ([], 起立異常など
- ・ 遺伝的な要因が関わり, [] や [] などの大型犬
- ・ 身体検査で [] を認める
- ・ 治療は, 保存療法や外科的治療を選択する

② []

- ・ ほとんどの症例(70-80%)は []
- ・ 好発犬種は, トイプードルやヨーキーなどの小型犬⇒ [] が多い
ラブラドルなどの大型犬⇒ [] が多い
- ・ 症状の程度をグレード分類する
 - グレード I : 脱臼は間欠的におこる。指で押すと脱臼するが, 離すと元に戻る。
 - グレード II : 指で押すと脱臼し, 指で押さなければ元に戻らない
 - グレード III : 常に脱臼しているが, 指で脱臼を整復できるが, 離すと再脱臼する。
 - グレード IV : 常に脱臼し, 用手での整復は困難

③ []

- ・ 前十字靭帯断裂は, 片側あるいは両側に発生
⇒ 片側を断裂した犬の約40%で1年半以内に反対側も断裂を起こす
 - ・ 好発犬種:
 - ・ 多くは [] 変性, 過剰な運動, 交通事故などの外傷が原因
 - ・ 一般的には [] 発生する
 - ・ [] を認める(挙上もある)
 - ・ [] を認めたり, [] で確認する
- ※レントゲン検査は, 足を [] した状態で撮影する

(5) 骨折

★骨折の治癒過程★

受傷 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 治癒

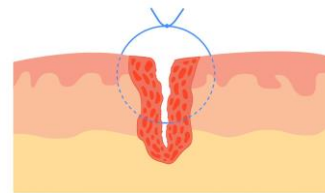
3 代表的な内科疾患

3.11 創傷管理/創傷治癒

(1)創傷治癒形態の分類

- ① []…手術創や鋭利な刃物による切創など、創縁が平坦で汚染のないもの
- ② []…皮膚組織の欠損を伴い、縫合出来ないもの
4つのフェーズで治癒する

- ③ []…二次治癒の途中で縫合して閉鎖治療すること



- ④ 表面的剥脱創の再生治癒…表皮と真皮のみの剥離による創傷では、毛包などから再生する

(2)創傷管理

- ・[]…創から血行不良により生じた壊死組織や不活性な組織を除去すること
- ・[]…創は適度な湿潤環境が最適でその状態を維持するために適度に排液する
- ・[]…創を覆うこと